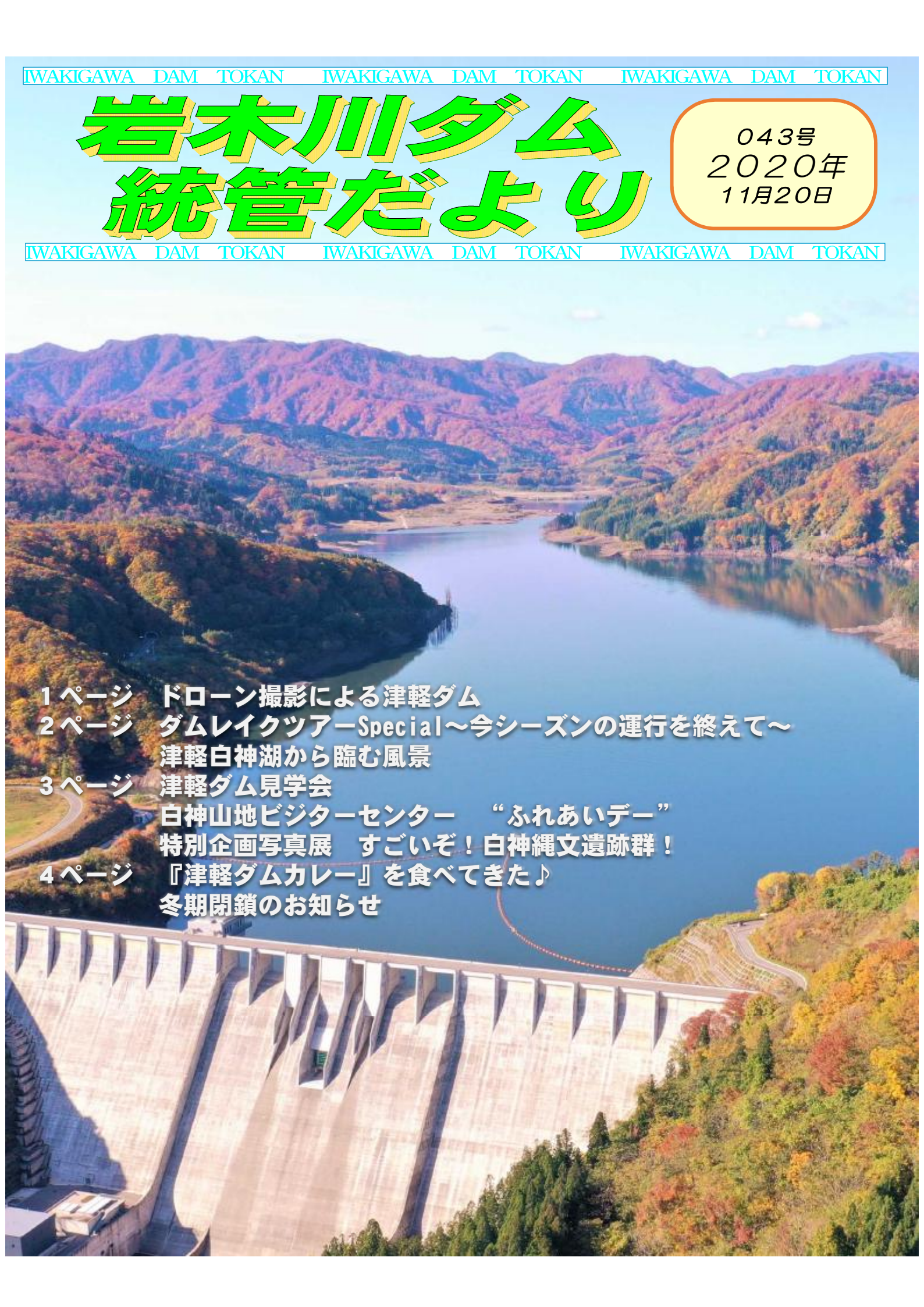


岩木川ダム 統管だより

043号
2020年
11月20日

- 
- 1 ページ ドローン撮影による津軽ダム
2 ページ ダムレイクツアーSpecial～今シーズンの運行を終えて～
津軽白神湖から臨む風景
3 ページ 津軽ダム見学会
白神山地ビジターセンター “ふれあいデー”
特別企画写真展 すごいぞ！白神縄文遺跡群！
4 ページ 『津軽ダムカレー』を食べてきた♪
冬期閉鎖のお知らせ

ニシメヤ・ダムレイクツアー Special



白神山地マスコットキャラクター
「プナッキー」

～今シーズンの運行を終えて～

令和2年10月31日、津軽ダムのダム湖を活用した水陸両用バス『津軽白神号』（企画実施：（一財）プナの里白神公社 津軽白神ツアー）は、運行開始から4年目の営業を終了しました。今年も、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、当初予定より1ヶ月以上遅れて6月からのスタートになりましたが、6,886名が乗車され、平成29年に運行を開始して以来4年間で、延べ46,127名の方が乗車されました。

また、水陸両用バス乗車に「津軽ダム内部見学」が付いたSpecial運行は、今年で2年目となり、こちらも当初5月から毎月2日（1日に午前と午後の2回）延べ24回を予定していましたが、自粛期間を設け、8月からの開始となり、5日間、延べ10回の開催となりました。

各回とも、世代性別問わず251名の方にご参加いただきました。今年は主に青森県内からの参加者が多数を占め、予定していた県外への修学旅行の代替としてツアーに参加される生徒さん達が目立ちました。また、感染予防対策のため、例年の見学会とは異なるルートでのご案内となりました。



▲水陸両用バス『津軽白神号』が「津軽白神湖」へ入水する瞬間



▲ダム見学会の様子 天端にて



▲ダム見学会の様子
ダム直下の白神が故郷橋パークにて



▲「ダムレイクツアーSpecial」募集ちらし

津軽白神湖から臨む風景

先日、水陸両用バスに乗車させていただき、ダム建設に伴い多くの方に移転をいただいた川原平地区・砂子瀬地区を確認しました。この時期は津軽白神湖の水位が低いため、ダム建設前に使っていた道路の一部や橋、家屋の基礎の痕跡、県道28号沿いの砂子瀬小学校があった場所等が顔を出し、当時の集落の様子が浮かび上がりました。

ダム建設にあたり、移転という苦勞や犠牲があって、ダム下流に住む私達が安心安全な毎日を過ごせるのだと再認識し、感慨深いものがありました。



▲川原平地区を臨む



▲白神山地マスコットキャラクター「プナッキー」も一緒に撮影♪



▲「Let's splash!!」の掛け声とともにバスは津軽白神湖へ



▲後ろに津軽ダムが見えますか～？



▲木々の色が変わっているところまで通常水に浸かっています



▲砂子瀬小学校があった場所を県道28号から臨む



▲旧道の撤去されず残された橋普段は津軽白神湖の水の中です



▲雲に隠れた岩木山、岩木川と紅葉

津軽ダム見学会

青森県西北地域県民局地域農林水産部
インターンシップ（県立五所川原農林
高等学校2年生）のみなさん

令和2年11月6日（金）、青森県西北地域県民局地域農林水産部のインターンシップに参加する県立五所川原農林高等学校2年生の5名の生徒さんが、津軽ダム見学にいらっしやいました。当日は風の強い日でしたが、同校出身の山内管理係長の説明に、熱心に耳を傾けていました。

見学を終えてみなさんから、「以前訪問した時より更にダムの役割や仕組みを詳しく学ぶことが出来、貴重な経験になりました」等の感想をいただきました。

また、山内管理係長からは、「就職しても、そこで勉強は終わりというわけではなく働いてからも常に勉強は必要です。資格は持っていても損はないので、取れるうちにとっておいた方がいいと思います。頑張ってくださいね！」とエールがありました。ご自身の経験を踏まえたお話しは心に響きます。参加者のみなさんの中から、将来同僚が生まれるかも？！

非常に有意義な見学会となりました。



▲津軽ダム資料展示室にて



▲ダム天端から下流にある発電所などの説明を受ける様子



▲非常用洪水吐の説明を受ける様子



▲ダム直下の白神が故郷橋パークにて、コンジットゲートの説明を受けるみなさん



白神山地ビジターセンター 第27回 “ふれあいデー”

令和2年10月17日（土）～10月18日（日）の2日間にわたり、毎年恒例の白神山地ビジターセンター秋の“ふれあいデー”が開催されました。

今年は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、主なイベントは事前募集により参加者を限定して行われました。紅葉シーズン真っ盛り、自然がいっぱいの西目屋村で、参加者の皆さんが思い思いに楽しんでいる様子が印象的でした。

当事務所はロビーの一部をお借りし、特設コーナーにて津軽ダムの役割や観光資源としてのダムの魅力を発信しました。



▲津軽ダムコーナーにて熱心に見入っていらっしゃいました



▲親子で楽しめるイベントです



▲パドル使いがお見事！



▲ただいま木登り体験中

白神山地ビジターセンター特別企画写真展 すこいぞ！白神縄文遺跡群—縄文時代の森林利用—



▲津軽ダムの写真も展示していただきました



▲縄文クイズを解きながら縄文時代にタイムスリップ



▲ビジターセンターのお友達も縄文土器に興味津々の様子



▲記念撮影コーナーにて遮光器土器のメガネが気に入りました

令和2年11月1日（日）から開催中の白神山地ビジターセンター主催特別企画写真展「すこいぞ！白神縄文遺跡群—縄文時代の森林利用—」では、津軽ダム建設時の遺跡調査で発掘された出土品や発掘作業の様子を撮影した写真がメインですが、津軽ダムの写真展示もしていただいています。クイズコーナー等もあり、誰でも気軽に縄文文化に親しむことができます。11月30日（月）までですので足を運んでみてはいかがでしょうか。

『津軽ダムカレー』を食べてきた♪



道の駅「津軽白神」ビーチにしめや内にある『レストラン森のドア』では、2014年から“津軽ダムカレー”を販売しています。

ダムカレーは全国のダム立地地域でバラエティにとんだ形で普及しており、その名の通りダムをモチーフに、ご飯を“堰堤”、カレーを“貯水池”に見立てたカレーライスです。現在青森県には、津軽ダムの他に早瀬野ダム（南津軽郡大鰐町）と川内ダム（むつ市）カレーがあります。

（日本ダムカレー協会HPより）

先日、かねてより気になっていた『津軽ダムカレー』を実食しました。ごはんが“津軽ダム”、とんかつは“目屋ダム”、ルーは貯水池である“津軽白神湖”、

福神漬は放流水、そしてブロッコリーは下流の“りんご畑”をイメージしているそうです。

スパイシーながらもフルーティな甘味も感じられるビーフカレー、とんかつもサクサクでとても美味しくいただきました。ブロッコリーは、りんごのドレッシングかマヨネーズを付けていただきます。ダムカレー専用のスコップ型のスプーンも楽しみの一つですね♪こちらのスプーンは売店でも販売されています。1日限定20食の『津軽ダムカレー（ドリンク1杯つき）＝1,200円＝』を皆様も召し上がってみてはいかがでしょうか？

ダムカレーの後は、実際の津軽ダムへレッツゴー！！



▲だんだん津軽ダムに見えてきましたか？



▲厚いけど柔らかくジューシーなとんかつはサクサク！！



白神が故郷橋パーク



11月25日（水）
17:00から
冬期閉鎖します

白神が故郷橋パークは、県道岩崎西目屋弘前線冬期閉鎖に合わせて、11月25日（水）17:00から入口ゲートを冬期間閉鎖します。

（降雪の状況により閉鎖開始が早まる可能性があります。※詳細は、HPをご覧ください。）

津軽ダムイメージキャラクター
ベッカー君



●岩木川ダム統管管理事務所ホームページ <http://www.thr.mlit.go.jp/iwakito/>

編集後記

新型コロナウイルス感染症の対応に奔走される医療従事者の皆様に感謝申し上げます。先月、当地域では新型コロナウイルス感染症クラスターの発生による自主的な自粛生活を余儀なくされました。しかし先日、1ヶ月も経たずに一定の封じ込めが出来たとのお話がありました。それも、医療従事者の皆様が、昼夜問わず奔走してくれたからだと思います。また、地域の皆様の徹底した感染予防対策あってのことです。

これから寒い時期が続き、灯油ももったいないし換気なんてしたくはないですが、『一致団結』みんなで感染予防対策に努めましょう！手洗いうがいマスク換気うーい！（刈馬）

編集・発行

国土交通省 東北地方整備局
岩木川ダム統管管理事務所

〒036-1422
青森県中津軽郡西目屋村大字居森平
字寒沢138-2

TEL 0172-85-3035
FAX 0172-85-3061



〈ホームページ〉 〈Twitter〉

岩木川ダム統管管理事務所
ホームページアドレス
<http://www.thr.mlit.go.jp/iwakito/>
公式Twitter @mlit_iwakito